

平成21年度 中部身体障害者福社会館の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人 川崎市身体障害者協会(川崎市川崎区大島1-8-6)
(2) 指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害者への助言・指導、相談業務 ・ ボランティアの育成及び援助 ・ 地域福祉活動を進めるための行事・講習会等の実施

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成21年度管理運営の状況	評価及び指導															
(1) 管理業務の実施状況																	
① 施設・設備の維持・管理に関する業務	今年度は次のような改修を行った。 【会館全体】 ①トイレ呼出補修工事 ②電話システム改修	障害者の利便性に配慮した施設・設備の維持・管理に努めており、評価できる。															
② 地域及び関係機関との連携への取り組み	「中身館フェスティバル」を開催し、福社会館や地域で活動する福祉団体等の協力を得て、会館や福祉団体等の活動やその成果を広く市民に紹介し、地域住民との交流を図った。また、障害者福祉の普及啓発も図った。 (参加団体数:14、来館者数:約250名)	「中身館フェスティバル」を通じて、地域住民に会館での活動等を紹介したことは評価できる。今後ともこのような取り組みに努めることが望まれる。															
③ 安全管理・災害対策への取り組み	非常災害時に備え、速やかに避難できるよう設備機材等の点検整備を行うとともに、利用者の安全を目的に地震や火災発生を想定して防災訓練を実施した。 福社会館全体では2回、作業室では毎月訓練を実施した。	安全管理・災害対策は利用者が安心して福社会館を利用するために不可欠である。今後も安全管理・災害対策を怠ることなく、万全を期すること。															
(2) 利用状況																	
① 利用者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延件数</td> <td>815</td> <td>898</td> <td>296</td> <td>2,009</td> </tr> <tr> <td>延人数</td> <td>10,532</td> <td>10,204</td> <td>3,277</td> <td>24,013</td> </tr> </tbody> </table>	区分	午前	午後	夜間	合計	延件数	815	898	296	2,009	延人数	10,532	10,204	3,277	24,013	昨年度に比べ全体的な利用者数は増加し、懸案だった夜間の利用者数も増加した。 今後も引き続き利用者のニーズを把握し、利用者増に努めることが求められる。
区分	午前	午後	夜間	合計													
延件数	815	898	296	2,009													
延人数	10,532	10,204	3,277	24,013													
② ボランティアの育成及び援助	【手話入門(昼)】全5回 延参加者数167名 【親子手話(昼)】全4回 延参加者数 87名 【朗読入門(夜)】全4回 延参加者数 61名 【拡大写本】全5回 延参加者数148名 【手話入門(夜1)】全5回 延参加者数182名 【手話入門(夜2)】全6回 延参加者数165名	地域住民等の障害者への理解や関心を引き起こし、ボランティア育成にもつながら講習会を幅広い層に対し実施しており、評価できる。今後とも同様の取り組みに努めること。															

評価項目	平成21年度管理運営の状況	評価及び指導								
(3) 収支状況										
① 収支状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>62,908,000</td> </tr> <tr> <td> 利用料</td> <td>25,724,000</td> </tr> <tr> <td> 委託料他</td> <td>37,184,000</td> </tr> </tbody> </table>	(円)		収入	62,908,000	利用料	25,724,000	委託料他	37,184,000	収入増に努めつつ歳出削減にも努めており、健全な運営と見ることができる。
(円)										
収入	62,908,000									
利用料	25,724,000									
委託料他	37,184,000									

		<table border="1"> <tr> <td>支出</td> <td align="right">53,875,648</td> </tr> <tr> <td> 事業費</td> <td align="right">6,437,156</td> </tr> <tr> <td> 管理費</td> <td align="right">47,438,492</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td align="right">9,032,352</td> </tr> </table>	支出	53,875,648	事業費	6,437,156	管理費	47,438,492	差額	9,032,352	
支出	53,875,648										
事業費	6,437,156										
管理費	47,438,492										
差額	9,032,352										
(4) その他											
① 利用者からの意見・要望等への対応	<p>苦情受付担当者、苦情解決責任者を定め、利用者から文書や口頭にて苦情等を受付けた上で、担当者や責任者が回答し解決を図った。また、川崎市障害者関係施設事業協会が行う苦情解決支援事業によって、第三委員・協力員の訪問を3回受けると共に、毎月苦情解決月次報告書を作成し報告した。</p>	<p>苦情・意見・要望が出た時は迅速に対応すること。</p>									
② 個人情報の保護	<p>個人情報保護に関するチラシ「プライバシーポリシー」を作成し、デイサービス利用者に契約時に配布している。また、法人で「個人情報保護規定」を制定し個人情報保護に努めている。</p>	<p>個人情報保護に関して利用者に文書で示していることと、法人内で個人情報保護規定を制定していることは評価できる。</p>									

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

18年度の指定管理者制度移行後、各種講習会の開催、地域・関係機関との連携、安全管理・災害対策の実施、サービス自己評価への取り組み等、引き続き、これまでと同様のサービスが確保された。指定管理4年目ということもあり、企業努力の姿勢が見られ、利用者数の増加につながっていることは評価できる。

4 来年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

22年度も引き続き、これまでと同様の運営及び取り組みを実施し、引き続き利用者数の増加につなげること。
 土曜日夜間や振替休日の利用については、開館することの是非を検証するため、障害者団体やボランティアサークル等にアンケートを取るなどし、事情を把握すること。
 各種支援事業などは評価できるので、事業の詳細の報告があったほうが良い。